
本音・建前・妥協と恋愛

三つ木

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

本音・建前・妥協と恋愛

【Zコード】

N4032BA

【作者名】

三つ木

【あらすじ】

学校という「マミヨニティ」の中、閉じた輪の中で起くるもうもろ。友達という束縛、恋愛という勘違い、変人である対価、周りと違う恐怖、価値観がちがう意味、それらを乗り越え、又は粉碎し、妥協し、迎合し、目的地を決めながらもこっちへフラフラ、あっちへフラフラ、時に目的地すら妥協しながら進んでいくお話を

だつたらしいね。

ある日の前（前書き）

はじめまして。はじめて書くのでみなさん全員はじめましてで間違いないはずです。

はじめて書きます、今までこんな風に書く遊びすらしたことない人間です。この話は自分の衝動で書いています。なので「あつ、こんな考えのキャラいたな」とか「しゃべり方が何となく似てる・・・」とかがあるかもしれません。

なのでこれはダメだと思ったら感想なりで言って頂いてかまいません。つていうか言ってくださいお願いします。

ある日の前

「…………わかんねえよ」

「…………わかるわけねえだろ」

あ！幾ら考えようがわからねえんだよおおおお！！！なのにいい！他人の事？んなもんわかるわけねえだろ？がああああああああ！！

「・・・だから俺は、他人の事なんて考えねえ。 そんな他人のつまらねえ事情に、一々拘つてやるつもりなんざ」

これは本音。
正真正銘間違いなく本音だ。
フチ切れて溢れ出た本音
の発露。

流れ出たものはもう戻らない。ただ広がっていくのみ。

覆水盆に返らず。

ベシツ

・・・痛い。

ああ、痛いな。なんだこれは。後頭部を衝撃が襲った。

瞑っていた目を開けると暗闇だった。うつすらと入ってくる光を頼りに眼球を動かし周りを見ると、何か大きいものがすぐ目の前にあることが分かる。

これはなんですか？これは机です。

・・・・・あまりの熟睡っぷりに、ついつい英語の教科書みたいな回答が出てきたようだ。ああ、ならさつき俺の後頭部を襲った衝撃は・・・

「お前、さつきの授業でも寝てたわ。どんだけ寝れば満足するんだ？」

ん？先生はなにやら酷い誤解をしているようだ。間違いは間違いと素直に教えてあげるのもまた、生徒の役割だろ。

体を起こし、口を開き、聞くに堪えない言い訳がこぼれ出る。

「いやそれは違いますよ先生。むしろ逆です、俺は極力眠りたくないんです。だって、もつたいたくないですか？寝ついたら何も分からぬ、前後不覚とかそんなレベルじゃなくて、なにも感じることもないなんて、もつたいたいない。」

「いやいや寝てたじやん。熟睡だつたじやん。しかも一時間、ふつ続けで」

「それはあれですよ、三時四時くらいここまで起きてると毎回眠気が…
・ね」

「結局寝てたら回りだらうが。まあ、一時間分は充眠?したんだから、あの時間ぐらいは起きたりよ」

加藤先生が教壇のほうへ歩いていく、もう一人寝ていたやつがいたらしく、そいつも行きがけの駄賃とばかりに教科書で覚醒させられていた。

「こつも思つんだが、このじ時勢に、軽いとはいえ暴力を振るう教師つてのもすげよな」

「たしかに」

「しかも男女問わずだぜ、男女平等とかいつての世の中だけどなかなかできないよ」

「たしかに」

「まあ俺の隣には授業中に二時間寝続けたつづ一猛者もおられるみたいだが」

「マジでかーー時間の睡眠しか出来なかつた俺なんかまだまだ…つてことなのかな」

「……………」

「スマセン、はい私です」

弱いなー俺。はい、本当は三時間も惰眠を貪つておりました。
ちなみに話しかけてきたのは隣の席の捨鉢活侍君、十六歳。八坂高校2年C組、主席番号・・・はわからないがなんとサッカー部のエース

の良き相棒だ。つまりエースほどの上手ではないけど他の部員よりは上手く、エース君（仮）と現時点で一番上手く会わせられると、そういうわけで。

「お前、沈黙のプレッシャー？」弱いなあ。いつもながら

「あの間がだめなんだよ。あの間が俺の良心を責めたてるんだよ

「んなもんあんのか？」

「はい、あります。すっげーのが。特注品のオーダーメイドが」

「…………」

「スマセン、ありません、欠片も、微塵たりともございません。あと言葉の意味が被つてしましました。もうしづけございません」

「オホン、話を戻すけど二時四時まで起きてなにしてんだ?」

「んーなんもしない」

「は?」

「いやだから、特別起きてなんかしてるってんじゃないくて、もう何度も読んだ本を読み直したり、深夜ドラマを見たり、ああたまにテレビショッピングも見たりと脈絡なく田的もなこのを」

「いやいやいや、んー、ふーん、はー、そつかそつか、なるほどな。2年になつて、隣の席になつて、喋つて、知り合つて、まだ1ヶ月も経つてないが・・・・間違いないと断言できぬよ。」

「お前は変人だ」

「知つてゐるよ。多分・・・」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4032ba/>

本音・建前・妥協と恋愛

2012年1月10日17時49分発行